

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		狂犬病予防事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	市民生活部
	施策	16	住環境の充実		所属課	環境衛生課
	業務分野	54	環境衛生の充実		所属班	環境衛生班
課長名		合志 義浩		担当者名		藤 樹・本 誌・尾上 昭暎
内線		1143				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	4	1	7	10118	合志市犬による危害防止条例、動物の愛護及び管理に関する法律 狂犬病予防法、合志市さくらねこ無料不妊手術チケット交付要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和25年に「狂犬病予防法」が施行され、飼い犬への予防注射が飼い主の義務とされたことから開始した。狂犬病予防のため、年1回の狂犬病予防注射の案内通知の発送と一生に1回の飼い犬登録・変更申請受付、鑑札交付、狂犬病予防注射済票交付事務、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護等を行っている。 R4.6.1より飼い犬へのマイクロチップ装着が義務化されている。(犬猫等販売業者は必須。一般の飼い主は努力義務) 野良猫の避妊去勢手術について、さくらねこ無料不妊手術チケットの交付、飼い主のいない猫の避妊去勢手術助成金の申請受付を行っている。 野良猫へのエサやりに関する通報を受けた際には、現地確認をおこない直接指導や啓発チラシの回覧を行っている。
【業務の流れ】	予防注射通知の発送、集合注射時の受付、注射済票交付、新規登録・変更申請受付、台帳作成(電算システム入力・出力)、捕獲檻設置・撤去、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護 さくらねこチケット交付、飼い主のいない猫の避妊去勢手術助成金の申請受付、野良猫へのエサやり現地確認、直接指導、啓発チラシ回覧
【主な予算費目】	職員手当等、需用費、役務費、負担金補助及び交付金(負担金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

狂犬病予防法に基づき犬の登録及び狂犬病予防注射済票に関する受付事務を行った(新規登録322件、注射済票の交付件数2,607件)。春季狂犬病予防集合注射を5月に実施した。秋季狂犬病予防集合注射を10月に実施した。また、野犬出没時の周辺パトロール、迷い犬の保護を行った。さくらねこ無料不妊手術チケットの交付(交付枚数37枚)及び、飼い主のいない猫の避妊去勢手術助成金の申請受付(件数4件)を行った。以上の成果として、狂犬病の発生を予防することができ、野良猫の増加を抑制することができた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

畜犬登録及び狂犬病予防注射済票交付事務、畜犬登録及び狂犬病予防注射実施済報告に関する啓発活動、狂犬病予防集合注射に関する事務、野犬出没時のパトロール及び捕獲、迷い犬の受付・保護を行う。
 さくらねこ無料不妊手術チケットの交付、飼い主のいない猫の避妊去勢手術助成金の申請受付、野良猫へのエサやりについて、現地確認をおこない直接指導、啓発チラシの回覧を行う。
 令和7年度より事務事業名を「狂犬病予防・動物愛護事業」に変更する。

③予算の主な増減の理由

犬のマナー啓発看板を購入することによる需用費(消耗品費)の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 狂犬病予防注射頭数/登録数	%	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	72	73.5	80	75	75	75	75	75
事業費	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	791	843	590	563	805	559	529	824
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	791	843	590	563	805	559	529	824

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

狂犬病予防注射通知事務、注射済票交付、新規登録事務を行い、狂犬病の発生予防に資することができた。
 野良猫へのエサやりについて、現地確認をおこない直接指導、啓発チラシの回覧を行った。さくらねこ無料不妊手術チケット交付、飼い主のいない猫の避妊去勢手術助成金を実施することにより、野良猫の増加を抑制することができた。
 また、狂犬病予防注射率を上げるためには、注射済票の交付申請漏れや死亡の届け出漏れがないようにする必要があるのであるため、引き続き広報活動や未注射犬への通知の送付などをおこなう。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)